

笹沼彩子（ささぬま・あやこ）先生



株式会社主婦と生活社
編集本部 編集第2部 ar編集長

1975 年生まれ 東京都出身

1997 年 株式会社主婦と生活社 入社

最初の配属よりar編集部に。主にファッション担当

2008 年 6 月 副編集長 就任

2012 年 6 月より現職

《講義概要》

トータルコーディネーター誌として、独自の路線を貫く a r (アール) 編集長の笹沼彩子氏が女性に変化すると題して、講義を行った。講義は、受講生代表からの質問に答える、一問一答形式で行われた。

講義ではまず、笹沼氏から a r とはこういった雑誌なのかの説明があった。a r はファッション・ビューティー・ヘアの「トータルコーディネーター誌」として、未婚の女性が如何に愛されるかをコンセプトとしており、「雌ガール」や攻めた表紙等、強い個性を持つ雑誌でもある。

続いて、受講生代表から a r のコンセプトや編集作業、売れる理由について質問をあげられた。a r はコンセプトやデザイン等の打ち合わせを重ね、2012年にリニューアルした。その過程の中で編集長に就任した笹沼氏は、雑誌のコンセプトを大切に、毎号の企画構成など全体のバランスを見て雑誌の方針をたて、表紙や企画タイトルに使われる特徴的な言葉も考えだしている。a r は特定の専属モデルを持たず、毎回企画に合うモデルを起用している。ファッションとビューティーは一人が同時にモデルを務めることもあり、商品やアイテムを押し出すのではなく、雑誌のキーワードやブランディングを重視した誌面作りを行っている。

「売れる雑誌とは」という問いかけに対し、「売れる方法があれば知りたい」と話されたが、ファッション誌として流行を取り入れる際にも、雑誌のコンセプトから外れる流行は掲載しないと話した。同発売日の雑誌の動向は気になるが、他誌との差別化を行う事よりも、雑誌としてのブランディングを固めることを重視している。

今後マスメディアに就職を希望する学生に対して、コミュニケーション力と共に文章力の必要性を説いた。出版社の中でも、担当する誌面によって求められる文章表現が異なる。文章の書き分けが必要とされるが、それには基礎となる文章力を養う必要がある。また、全ての受講生に対して、社会に出る上で、自分で判断する能力を培ってほしいと話した。作り手が元気でエネルギーを持った人がいれば、業界全体が活性化する。失敗をしても成功しても、それを自身の力でできるようにしてほしいと述べた。

女子の受講生からは、購読している a r の裏側を知ることが出来たという声が挙げられた。

